

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
腎細胞癌 ニボルマブ・カボザンチニブ併用療法(4週毎)		28日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
day1	① 生食50mL(プライミング用) ② オブジーボ480mg+生食100mL 投与時は0.2又は0.22 μ mインラインフィルターを使用する。 体重30kg未満の場合、総液量100mL以下とする。 ③ 生食50mL(フラッシュ用)		
day1-28	カボメティクス 40mg 1日1回 空腹時 食事の1時間前から食後2時間までの間の服用は避ける		
コメント	d1-28 カボザンチニブ 40mg/日 内服		

プロトコールに関する解説
<p>本治療法は、免疫チェックポイント阻害薬(ニボルマブ)とチロシンキナーゼ阻害薬(カボザンチニブ)を併用した治療法であり、進行腎細胞癌に対する1次治療として効果が示されています。臨床試験により、チロシンキナーゼ阻害薬単剤(スニチニブ)より、有意に優れていることが確認されています。</p> <p>免疫療法による副作用とチロシンキナーゼ阻害薬による副作用の各々、もしくは両方がみられることがあり、当科では、初回治療は入院にて行っております。副作用により薬剤の減量、休薬および中止となることもあり、ニボルマブの副作用である内分泌障害の状況によっては、ホルモン投与の補充が一生涯必要になることもあります。</p>